

( 報告事項 )

第1318回経営委員会資料  
2018年11月27日

# 予算の執行状況

---

(平成30年10月末)



# I 一般勘定の状況

## 1 予算との比較

10月末標準進捗率 58.3%

事業収入は4,277億円（進捗率59.7%）で、財務収入における配当金の受け入れや、受信料収入や雑収入（前々年度以前受信料の回収等）の進捗が進んだこと等により、全体としては標準をやや上回る進捗率となった。

事業支出は3,997億円（進捗率56.1%）で、効率的な事業運営により、全体として標準進捗率を下回る支出状況となった。

以上により、事業収支差金は279億円の黒字となった。

### 事業収入

- 受信料は、契約収納活動の推進により、受信契約件数が増加し、標準をやや上回る進捗率となった。
- 財務収入は、関連団体からの配当金により、標準進捗率を上回った。
- 雑収入は、前々年度以前受信料の回収が進んだこと等により、予算額を上回った。

### 事業支出

- 国内放送費は、堅調な支出状況となっているが、今後は本放送開始に向けたスーパーハイビジョン番組制作の強化による支出等が見込まれるため、進捗を注視していく。
- 国際放送費は、ニュース・番組の充実等を推進しているが、全体としては標準進捗率を下回った。
- 契約収納費は、契約取次数の増加に伴う契約収納手数料の増等により、標準進捗率を上回った。

## (事業収支)

(単位 億円)

区 分	予 算 額	10 月 末 実 績 額	予 算 残 額	進 捗 率
事 業 収 入	<b>7,168</b>	<b>4,277</b>	<b>2,891</b>	<b>59.7%</b>
受 信 料	6,995	4,143	2,852	59.2%
交 付 金 収 入	35	20	14	58.3%
副 次 収 入	75	42	33	56.2%
財 務 収 入	35	35	0.4	98.8%
雑 収 入	23	35	△ 12	152.2%
特 別 収 入	2	0.3	2	16.3%
事 業 支 出	<b>7,128</b>	<b>3,997</b>	<b>3,130</b>	<b>56.1%</b>
国 内 放 送 費	3,424	1,920	1,503	56.1%
国 際 放 送 費	260	137	122	52.8%
契 約 収 納 費	628	381	247	60.6%
調 査 研 究 費	91	36	55	39.6%
給 与	1,164	654	509	56.2%
退 職 手 当 ・ 厚 生 費	492	286	206	58.2%
共 通 管 理 費 等	220	119	100	54.3%
減 価 償 却 費	803	454	348	56.6%
特 別 支 出	22	6	16	27.1%
予 備 費	20	-	20	0.0%
事 業 収 支 差 金	<b>40</b>	<b>279</b>	<b>△ 239</b>	<b>-</b>

## 2 前年同月との比較

事業収入は受信料の増収等により、前年同月と比べ97億円増の4,277億円となった。

事業支出は退職手当・厚生費等が減となった一方で、国内放送費と契約収納費の増等により、前年同月と比べ56億円増の3,997億円となった。

以上により、事業収支差金は、前年同月と比べ41億円増の279億円となった。

### 事業収入

- 受信料は、契約総数・衛星契約数ともに増加したことにより、前年同月を上回った。
- 財務収入は、関連団体からの配当の減等により、前年同月を下回った。
- 雑収入は、前々年度以前受信料の回収額の増等により、前年同月を上回った。

### 事業支出

- 国内放送費は、番組の充実等により、前年同月を上回った。
- 契約収納費は、法人委託手数料の増加等により、全体としては前年同月を上回った。
- 退職手当・厚生費は、退職給付費の減等により、前年同月を下回った。

## (事業収支)

(単位 億円)

区 分	前年同月末 実績額	10月末 実績額	増減額	
			増減額	増減率
<b>事業収入</b>	<b>4,179</b>	<b>4,277</b>	<b>97</b>	<b>2.3%</b>
受信料	4,018	4,143	124	3.1%
交付金収入	22	20	△ 1	△ 8.7%
副次収入	43	42	△ 1	△ 3.0%
財務収入	69	35	△ 34	△ 49.4%
雑収入	21	35	13	64.8%
特別収入	3	0.3	△ 2	△ 87.6%
<b>事業支出</b>	<b>3,940</b>	<b>3,997</b>	<b>56</b>	<b>1.4%</b>
国内放送費	1,840	1,920	80	4.4%
国際放送費	136	137	0.9	0.7%
契約収納費	345	381	35	10.4%
調査研究費	37	36	△ 1	△ 3.2%
給与	644	654	10	1.6%
退職手当・厚生費	382	286	△ 95	△ 25.0%
共通管理費等	110	119	8	7.7%
減価償却費	436	454	17	4.1%
特別支出	6	6	△ 0.3	△ 4.8%
<b>事業収支差金</b>	<b>238</b>	<b>279</b>	<b>41</b>	<b>-</b>

### 3 受信料の状況

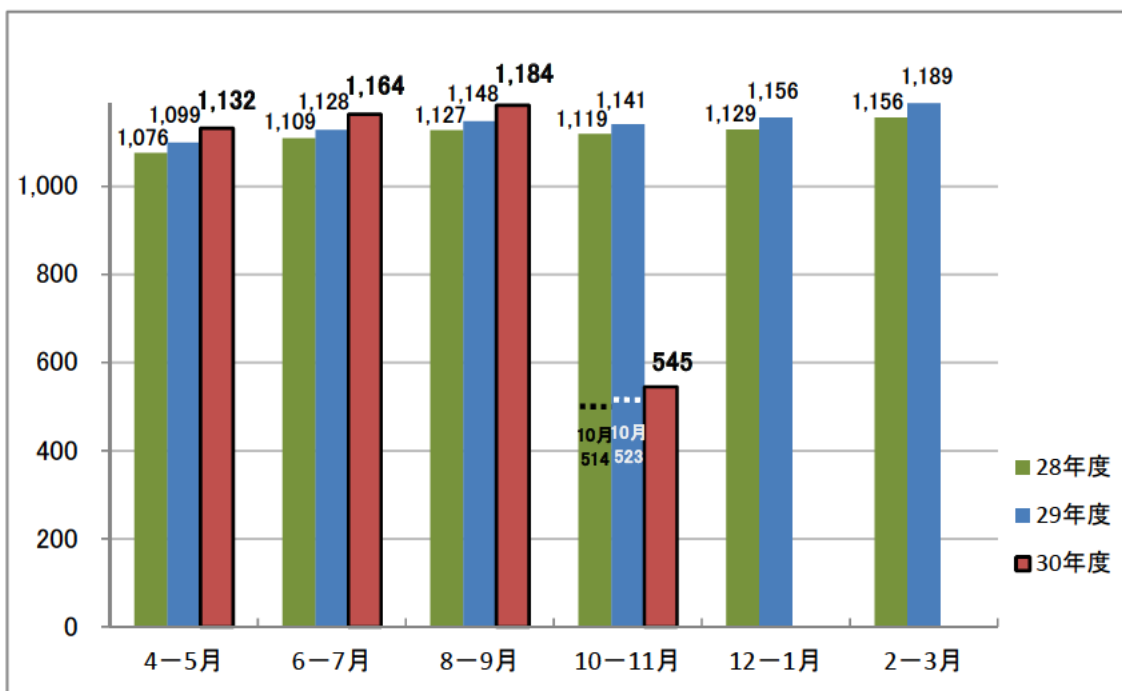
受信料は、受信契約件数の増加により前年同月に比べ124億円増加した。  
 受信契約件数については、契約総数・衛星契約数ともに年間計画を上回った。

(単位 億円)

区 分	29年度 10月末	30年度 10月末	増減額
受 信 料	4,018	4,143	124
受信料収納額	3,899	4,027	127
回収予定額	118	115	△2

#### 受信料収納額の期別推移

(単位 億円)



## 受信契約状況

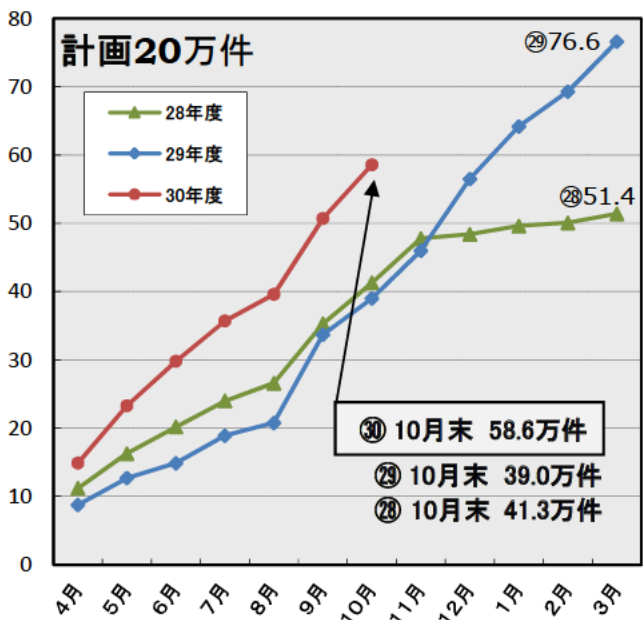
10月末標準進捗率 58.3%

(単位 万件)

区分	29年度			30年度			30年10月末 契約現在数
	計画	10月末実績	進捗率	計画	10月末実績	進捗率	
契約総数	50	39.0	78.0%	20	58.6	293.0%	4,164.7
衛星契約数	60	41.0	68.3%	46	47.7	103.7%	2,143.1
未収数 (9月末)	△ 11	△ 0.1	1.3%	△ 4	△ 4.4	112.1%	79.3 (9月末)

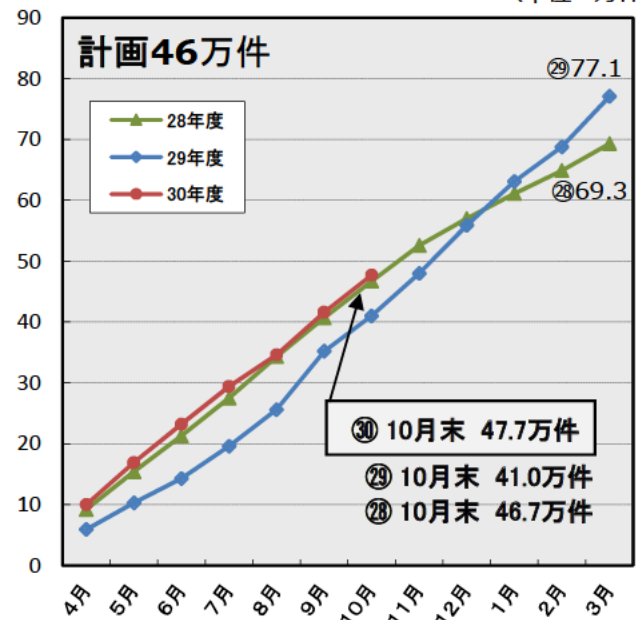
【契約総数増加】

(単位 万件)



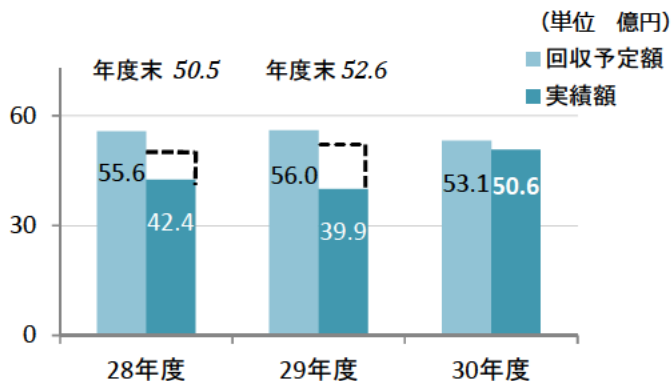
【衛星契約数増加】

(単位 万件)

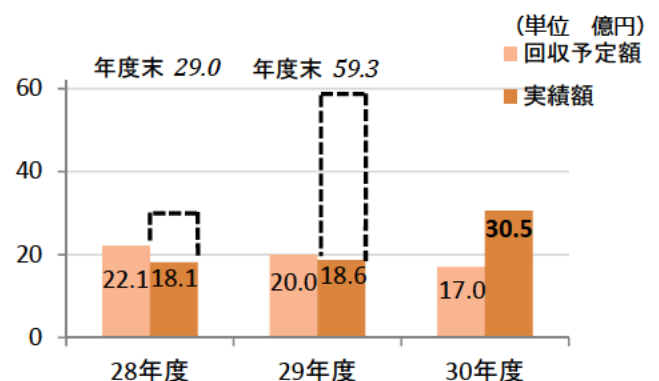


### 【参考】前年度・前々年度以前受信料の回収額

・前年度受信料回収額



・前々年度以前受信料回収額 (雑収入に計上)



## Ⅱ 放送番組等有料配信業務勘定の状況

### 事業収支のポイント

事業収入は12.8億円で、視聴料収入は標準進捗率を上回ったものの、事業者提供料収入の減等により、全体としては標準進捗率を下回った。

事業支出は10.7億円で、効率的な業務実施により標準進捗率を下回った。

以上により、事業収支差金は2.1億円の黒字となった。

(事業収支) 10月末標準進捗率 58.3%

(単位 億円)

区 分	予算額	10月末 実績額	予算残額	進捗率	前年同月末 実績額	増減額
事業収入	22.2	12.8	9.4	57.7%	12.2	0.5
うち視聴料収入	20.2	12.1	8.0	60.1%	11.2	0.8
うち事業者提供料収入	2.0	0.6	1.3	33.9%	0.9	△ 0.3
事業支出	21.9	10.7	11.2	48.8%	11.5	△ 0.7
事業収支差金	0.2	2.1	△ 1.8	-	0.7	1.3

### 視聴料収入の単月推移

